

# 和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ 第2回（6月16日）開催記録

第2回目の「和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ」が、6月16日（水）午後6時30分より、和歌山市勤労者総合センター6階文化ホールで開催されました。

本格的な討議が始まる今回は、「個店の魅力で人を惹きつけるまち」、「お気に入りの風景やスポットのあるまち」、「長い時間ゆっくりと過ごせるまち」、「高齢になっても生き生きと過ごせるまち」の4つのテーマグループに分かれて討議を行いました。また、市長がそのうちの一つのグループに入って市民メンバーとともに討議に参加しました。

## 1 市長あいさつ(概要)

みなさんこんばんは。本日は、ワークショップの本格的な討論の第1回目ということで、ぜひとも皆さんの顔を見て、少しは私も役に立つことが言いたいと思い、又皆様方からいろいろとお話しを伺いたいと思って参りました。平素皆様方には、この中心市街地の活性化の問題をはじめ、様々な市政の面におきまして、ご尽力・ご理解を賜っていることに改めてお礼申し上げます。和歌山市は課題が山積しておりまして、この中心市街地の問題以外にもいろいろなことがございます。スタイタウンつつじが丘、貴志川線、市財政全般、高野熊野の世界遺産の指定を控えての観光の振興という問題があります。テーマだらけで、行政も頭の中がいっぱいでありまして。皆様方の積極的な、行政の頭では考えられない斬新な、そして皆様自身が期待でき、参加できるような案をこのワークショップの中でどんどん出していただいて、そこから私どもの頭がパッと覚めるようなご提案をいただけるようお願いして、本日のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



## 2 グループ討議(ワーキング)のスタート

今回から始まるグループ討議は、次の基本テーマ、基本目標、基本方針に沿って進めていきます。

<b>基本テーマ</b>	「住遊融合・新しい都市核」	長時間の滞在が楽しく、そこに暮らす人々とともに、そこに訪れた人々との交流の風景そのものが、魅力ある日常生活の情景となるまち
<b>基本目標</b>	「高機能で暮らしやすく、来て楽しい、どこにもない場所の創造」	商店の魅力ある展開はもとより、高齢になっても暮らしやすく、子ども連れの夫婦も余暇を楽しめ、ひとりでも楽しく時間を過ごせ、若い世代の人にも自分のまちとして誇れるようなまち
<b>基本方針</b>	「自分たちそれぞれが5年以内に出来るまちづくり」	市民、商業者、地域住民、行政がそれぞれの立場で、自らが実現可能なことを考え、5年以内に実施可能な実効力のある計画にする。

基本テーマ，基本目標，基本方針を前提として，24人の市民メンバーが，次の4つのテーマをもったグループに分かれて討議・検討を行います。

Aグループ	賑わい性創出グループ 「個店の魅力で人を惹きつけるまち」	商店街の活性化も含め，商業の活性化が中心となるが，人が賑わい，個店それぞれが魅力的で人を惹きつけることができ，その魅力が集積されて全体の魅力となるような商業集積があるまちを想定する。
Bグループ	界索性創出グループ 「お気に入りの風景やスポットのあるまち」	そこに住む人や訪れる人が，このまちにお気に入りの風景やお気に入りの特定の場所を持てるような，文化の香りがしたり，歴史を感じたり，他所にはない，独特の雰囲気をもったまちを想定する。
Cグループ	回遊性・滞留性創出グループ 「長い時間ゆっくり過ごせるまち」	そこに住む人も訪れる人も，買い物をしたり，映画を見たり，風景を楽しんだり，学んだり，遊んだり，長い時間じっとそこにいられたり，時間をかけてまちを歩いたり，そういうことのできるまちを想定する。
Dグループ	暮らし空間創出グループ 「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」	子どもから高齢者まで，そこに住むことで生き生きと暮らせ，コミュニティがあり，趣味の生活が出来，アクティブな暮らし空間や時間があるような新しい地方都市核のライフスタイルをもったまちを想定する。

上記の4グループが，それぞれのグループテーマに沿って，今回の議題である「現状と課題の把握」について討議・検討を行いました。



各自自己紹介の後，各グループともに，現状・課題に留まらずいろんな意見がどんどん出され，討議のまとめ役となるファシリテータの進行にも熱が入っていました。また，様々な質問に答えるアドバイザーとしてグループ討議をサポートするワーキング協働スタッフ（TMO・県・市職員）も，市民の方々の真剣な討議に聞き入っていました。

それぞれのグループの検討結果は次のとおりです。

**Aグループ**  
**「個店の魅力で人を惹きつけるまち」賑わい性創出ワーキンググループ**

今回の議題	「現状と課題の把握」	ファシリテータ 氏名	川崎 昌和
-------	------------	---------------	-------

(検討結果)  
 今回のワークショップは実質的な議論の始まりということで、まずは簡単な自己紹介から…と思っていたのですが、自己紹介の最中から熱い議論に入っていました。「個店の魅力」がテーマのAグループですが、中心市街地を「個店」単位だけで考えることはなかなか難しいようで、メンバーの皆さんの問題認識は、街の雰囲気づくり、歴史文脈、駐車場問題など、幅広い分野に広がっていきましました。そんな中でも、「とにかく今の延長線ではだめ。やはり大きく変えていかないといけない。」という共通認識は得ることができました。次回以降はとにかく、「必ず実践できるプラン」を考えていきたいと思ます。

**Aグループ「現状と課題の把握」ステージ とりまとめ**

**■中心市街地の各店舗の現状は？**

- さびれている
- 楽しさが無い
- 人を惹き付けるものがない
- 本当においしいものがどこにあるのかわからない
- 駐車場が不便
- 休める場所がない
- イベントやっても、単発で終わり

「午後8時 もう寝てるんか ぶらくり丁」

それはなぜ？

**■課題（問題点）は？**

そもそも、「中心市街地」=「さびれたところ」という固定観念が定着してしまっていることが最大の問題だろう

⇒それを変えるには、**大変革が必要！**

- ◆「〇〇なまちづくりをします」宣言を
  - ←共感できる魅力的な目標を掲げて、それに向けて邁進しよう
  - ←現在の延長線で考えてはだめ
  - (にぎわいの歴史に回顧するのではなく、新たな一歩を)
- ◆和歌山のまちなかでしか味わえないことを
  - ←都会と同じこと、他のところ(例えば黒壁)と同じことをやってもだめ
  - ←デパートでは味わえない何かが必要。とくに、ソフト面での取り組み
- ◆個店単位の「こだわり」づくり
  - ←質の高さへのこだわりを個店単位から ⇒徐々に雰囲気づくりへ

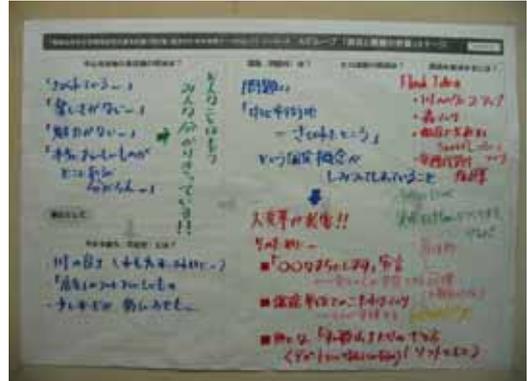
**■フラッシュ・アイデア**

- もっと川を活かした展開
- まちなかの森づくり
- 個店共通のちょっとした「しつらい」づくり
- 「露地」を
- 商業者の新陳代謝を誘導するしくみ
- 駐車場から目的の店までの間が楽しい空間づくり

活用するには？

**■中心市街地の魅力（可能性）は？**

- 川・堀があるところ  
(川の水もきれいになってきている)
- 古い建物はないが、由来のある街の名前が残されている
- 「店名の付いた名物」があった  
(「おかつのしっぽくそば」など)
- 少しずつ、新しいお店も出てきている

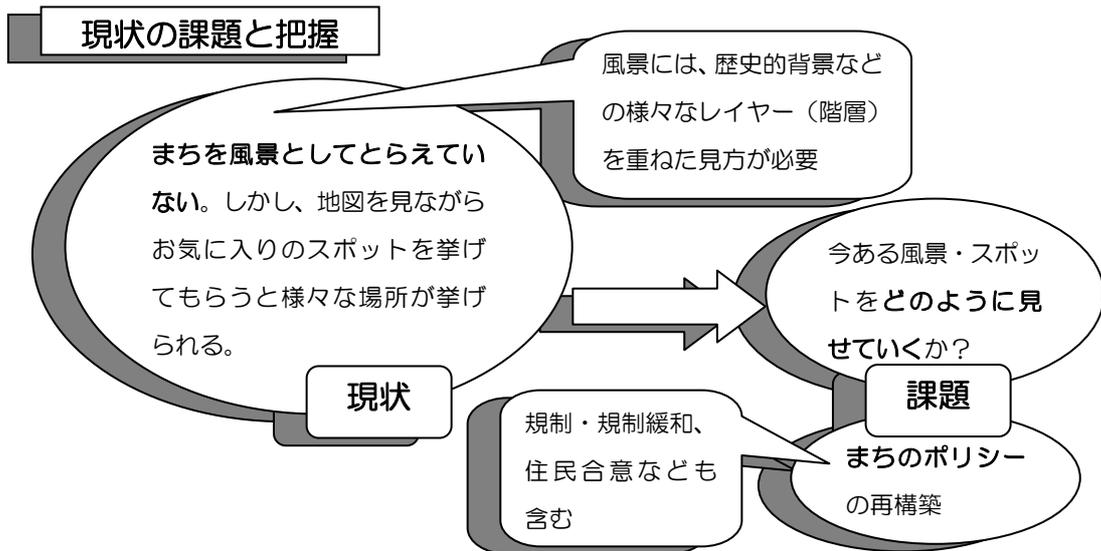


**Bグループ**  
**「お気に入りの風景やスポットのあるまち」 界索性創出ワーキンググループ**

今回の議題	「現状と課題の把握」	ファシリテータ 氏名	西川 昇
-------	------------	---------------	------

(検討結果)

Bグループは「お気に入りの風景やスポットのあるまち」というテーマですが、ひじょうに解釈の難しいテーマですので、さっそく自己紹介もかねてフリートークで大きな中心市街地の地図を使いながらメンバーが「お気に入りの風景・スポット」を紹介・説明しながら書き込んでいきました。すると、和歌山城の見える景色、本町通りの桜、堀詰橋、内川の景色、寄合橋、歴史的スポットなどなど様々な場所が挙げられました。その後、今回のテーマである「現状と課題」の話に移りましたが、ここではまちの「見せ方」や「現在のまちのイメージ」など様々な話題が出ました。メンバーの認識としては新たにモノを作るのではなく、現在あるものをどのようにして活かしていくか？という部分が共通していました。



Cグループ 「長い時間ゆっくり過ごせるまち」回遊性・滞留性創出ワーキンググループ			
今回の議題	「現状と課題の把握」	ファシリテータ 氏名	片桐 裕明
<p>(検討結果)</p> <p>Cグループは「長い時間ゆっくり過ごせるまち」というというテーマで、現状と課題についてメンバーにポストイットに記入、説明をして頂くところから始めました。</p> <p>メンバーからは、「時間を気にしないで使える駐車場が無い。」「休憩できる場所がない。」「飲食、物販とも魅力ある店が不足している。」「買い物～映画～食事という時間が過ごせない。」という意見が出されました。</p> <p>一方「1週間に2度必ず行く店がある。」「魅力的な店はある。もっと宣伝しては」との意見も出され、厳しい意見は中心市街地への期待の高さの裏返しであることを再確認できました。</p> <p>また「今1時間も過ごせない中心市街地が、午後一杯過ごせるような街になれば」との意見がだされ非常に印象的でした。</p> <p>「Cグループ「現状と課題」ステージの意見」</p> <p>交通の手段：時間を気にせず駐車出来る場所が無い。代替りの交通手段も無い。</p> <p>                  駐車場が点在している。わかりづらい。</p> <p>快適な空間：雨の日でも座れる休憩スペースが無い。買い物、食事以外の休憩スペースが無い。</p> <p>                  殺伐とした風景で行ってみたいと思えない。統一感が無い。文化性が感じられない。</p> <p>                  自動車、自転車が多く安心して歩けない。歩道が車椅子対応となっていない。</p> <p>                  お城と連動した回遊性が考えられてない。中心市街地内の移動手段が不便。</p> <p>個店の魅力：飲食店が少ない。核店舗がない。</p> <p>                  買いたいと思うものを売っている店がない。新鮮さがない。行きたい店がない。</p> <p>                  買い物～映画～食事という流動的な消費が生まれていない。</p> <p>                  1週間に2度必ず行く店がある。魅力ある店はある。情報が発信されてないだけでは。</p>			



Dグループ 「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」暮らし空間創出ワーキンググループ																																							
今回の議題	「現状と課題の把握」	ファシリテータ 氏名	鳥淵 朋子																																				
<p>(検討結果)</p> <p>今回はグループワーク第1回目でしたので、和やかな雰囲気づくりのためにニックネーム添え自己紹介から始めました。Dグループには大橋市長も最初の1時間メンバーとして参加されました。</p> <p>Dグループのテーマは「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」です。フリートーキングで日頃感じておられる中心市街地について伸び伸びと忌憚のない発言があり、「公共交通」「景観」「バリアフリー」「歩く動線」「駐車場」「車出入り禁止」「住宅の集積」など多岐にわたる内容に及びました。議論する上での高齢者イメージは、現在の高齢者とは異なり、ITを使いこなせ、車にも乗れるオシャレなライフスタイルだということを確認しました。最後にそれぞれ、現状と課題について、ポストイットに記入し模造紙に貼り付けましたが、現状は問題のある指摘が多く、良いところは思いつかないという結果になりました。</p> <p><b>【 Dグループ 高齢になっても生き生き暮らせるまち 】 ラベルワーク</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">＜悪い所＞</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">＜良い所＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人も道も車の道も同じ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自転車で走れない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">歩行が危険</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">思いつかない</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">バスが少ない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共交通機関の不備</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">街路が連結していない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">タウンモビリティの導入</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">店の統一感がない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">通りがおしゃれでない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">緑が少ない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">利便性が中途半端</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">目的地がない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">シンボリックなものがない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">回遊スポットがない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">破壊と創造</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">現 状</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人に貸さない土地所有者の意識</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">内川を活かしていない</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どこに住むのかわからない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">街のバリアフリー化</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">課 題</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">古い街並みをどう今に活かす</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">転入人口の増加</td> </tr> </tbody> </table>				＜悪い所＞		＜良い所＞		人も道も車の道も同じ	自転車で走れない	歩行が危険	思いつかない	バスが少ない	公共交通機関の不備	街路が連結していない	タウンモビリティの導入	店の統一感がない	通りがおしゃれでない	緑が少ない	利便性が中途半端	目的地がない	シンボリックなものがない	回遊スポットがない	破壊と創造	現 状		人に貸さない土地所有者の意識	内川を活かしていない			どこに住むのかわからない	街のバリアフリー化			課 題				古い街並みをどう今に活かす	転入人口の増加
＜悪い所＞		＜良い所＞																																					
人も道も車の道も同じ	自転車で走れない	歩行が危険	思いつかない																																				
バスが少ない	公共交通機関の不備	街路が連結していない	タウンモビリティの導入																																				
店の統一感がない	通りがおしゃれでない	緑が少ない	利便性が中途半端																																				
目的地がない	シンボリックなものがない	回遊スポットがない	破壊と創造																																				
現 状		人に貸さない土地所有者の意識	内川を活かしていない																																				
		どこに住むのかわからない	街のバリアフリー化																																				
		課 題																																					
		古い街並みをどう今に活かす	転入人口の増加																																				

